

説得力のある意見文を書くことができる生徒の育成 —記述前の段階に根拠を吟味する活動を取り入れて—

国語班 都筑和久（中学校教諭）

生徒の実態

主張を裏付ける根拠を明らかにしながら自分の考えをまとめて書くことが苦手

根拠には何を
書いたら
いいのかな？

説得力をもたせる根拠の
条件はあるのかな？



STEP 1

モデルを吟味する活動

読み手が納得できる
根拠の条件に気付く。

☆根拠の条件
主張と根拠が結びついている
事実や体験、引用、具体的な数字

前よりも説得力が
でてきたよ！
自分で読んで
今の方がいいわ！



事実や体験が入るだけで
こんなに変わるのね！
根拠の条件って本当に必要ね！

STEP 2

自他の根拠を吟味する活動

自他の根拠を吟味しながら
適切な根拠にしていく。

・「前より速くなる」よりも
「2秒速くなる」
とした方がいいよ
・「優しい」って
どんなときに優しいの？

今までは、具体例や
事実や体験が書けて
いなかったんだ！



これなら書けるね！
もっと書いてみたいな！

吟味する活動の ポイント

☆比較が誰でもできる。
☆誰でも根拠の条件に気
付ける。



さあ、説得力のある
意見文を書いてみよう！



成果

根拠の条件に気が付くことで
説得力のある意見文を書くこと
ができたね。

課題

書けなかった人は、もう一度
その場面の出来事を具体的に
体験や事実を入れて考えてみ
ようね。